

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: SOF041019/SOF062044))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。		

概要

履修目標
今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活や実社会の場で活用できる基礎的素養を身につける。ドキュメンテーション及びプレゼンテーションの基礎知識を身につけ、自分が意図した通りにデータを加工し、適切なかたちで表現する技能を習得する。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
データ・AI活用領域の広がりや理解し、それらを活用する価値を説明できる。また、その際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解し習得する。コンピュータを使って、データを適切に加工・分析・考察することができ、その結果をプレゼンテーションツール等を用いて、表現することができる。

授業全体の内容と概要
数理・データサイエンス・AIの活用について、講義・演習課題、各種教材を通して、知識だけではなく、実際にデータを加工し、表現できる技術を体系的に学修できる授業内容とする。習熟度を測定するために確認テストを複数回実施する。演習課題は個人形式行う他に、知識・技術の応用・定着を図るため、グループワーク(グループディスカッション)形式の演習を取り入れる。なお、グループ編成は、基礎知識や使用ソフトの操作技術の習熟度を考慮した上で、担当教員より指定する。

授業の方法
各回の授業は、担当教員による講義と、Excel・PowerPointを使った演習を組み合わせで行う。演習は、個人形式またはグループワーク形式で実施し、成果物の提出を求める。本科目開講期間中は、講義で使用した教材をオンライン上に保存・提供するので、復習等に活用してほしい。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>プレゼンテーション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>フィールドワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>模擬授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ロールプレイ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>調査学習</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ディスカッション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>実験・実習・実技</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>双方向授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL																	
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業																	
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
課題データは、自分で考えまとめたものを提出することとし、第三者が作成した著作物等を転用しないこと。自分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、必要な設定は予め済ませておくこと。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上とする。30分以上の遅刻は欠席と見なす。5評価(秀)は、原則として全出席者に限る。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	50%	0%	50%	0%	0%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
50%	0%	50%	0%	0%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数理・データサイエンス・AIの理解</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて自分の考えと併せて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できなかった。</td> </tr> <tr> <td>データ・AI利活用におけるモラル・倫理・リスクの理解</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、自分ごととして考え、事例を基に詳しく説明できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を基に詳しく説明できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を見つけて理解できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>コンピュータを使ったデータ加工・分析・表現</td> <td>Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現し、自らの考えを交えて説明できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を表現できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができず、結果を正しく表現できなかった。</td> </tr> <tr> <td>コンピュータを使ったスライド作成・表現</td> <td>図や画像を使い、レイアウトやテキストなどの細かい設定に気を配り、より聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。</td> <td>図や画像を使い、聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。</td> <td>図や画像を使い、スライドを作成することができた。</td> <td>スライドを作成することができた。</td> <td>スライドを作成することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>プレゼンテーションの基礎知識</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的かつ自分なりに工夫を凝らしたプレゼンすることができた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的にプレゼンすることができた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践できた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得できた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得できなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	数理・データサイエンス・AIの理解	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて自分の考えと併せて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できなかった。	データ・AI利活用におけるモラル・倫理・リスクの理解	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、自分ごととして考え、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を見つけて理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できなかった。	コンピュータを使ったデータ加工・分析・表現	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現し、自らの考えを交えて説明できた。	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができず、結果を正しく表現できなかった。	コンピュータを使ったスライド作成・表現	図や画像を使い、レイアウトやテキストなどの細かい設定に気を配り、より聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、スライドを作成することができた。	スライドを作成することができた。	スライドを作成することができなかった。	プレゼンテーションの基礎知識	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的かつ自分なりに工夫を凝らしたプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的にプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できなかった。
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
数理・データサイエンス・AIの理解	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて自分の考えと併せて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できなかった。																																				
データ・AI利活用におけるモラル・倫理・リスクの理解	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、自分ごととして考え、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を見つけて理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できなかった。																																				
コンピュータを使ったデータ加工・分析・表現	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現し、自らの考えを交えて説明できた。	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができず、結果を正しく表現できなかった。																																				
コンピュータを使ったスライド作成・表現	図や画像を使い、レイアウトやテキストなどの細かい設定に気を配り、より聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、スライドを作成することができた。	スライドを作成することができた。	スライドを作成することができなかった。																																				
プレゼンテーションの基礎知識	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的かつ自分なりに工夫を凝らしたプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的にプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>『教養としてのデータサイエンス』</td> <td>内田誠一/川崎能典/孝忠大輔/佐久間淳/椎名洋/中川裕志</td> <td>講談社サイエンティフィク</td> <td>2021</td> <td>978-4-06-523809-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>『データサイエンスの基礎』</td> <td>濱田悦生</td> <td>講談社サイエンティフィク</td> <td>2019</td> <td>978-4-06-517000-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『教養としてのデータサイエンス』	内田誠一/川崎能典/孝忠大輔/佐久間淳/椎名洋/中川裕志	講談社サイエンティフィク	2021	978-4-06-523809-7		2	『データサイエンスの基礎』	濱田悦生	講談社サイエンティフィク	2019	978-4-06-517000-7		3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『教養としてのデータサイエンス』	内田誠一/川崎能典/孝忠大輔/佐久間淳/椎名洋/中川裕志	講談社サイエンティフィク	2021	978-4-06-523809-7																																					
2	『データサイエンスの基礎』	濱田悦生	講談社サイエンティフィク	2019	978-4-06-517000-7																																					
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: SOF041019/SOF062044))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション・プレゼンの基礎】シラバス説明、プレゼンの基礎、PowerPoint基本操作	シラバスの確認(45分)	プレゼンの基礎、基本操作の復習(45分)
2	【データ・AI利活用(導入)】データ・AIを学ぶ意義、社会で起きている変化、社会で活用されているデータ	データサイエンスを調べる(45分)	確認テストの復習(45分)
3	【データ・AI利活用(導入)】データ活用事例について調べ、スライドを作成する。	データ活用事例を調べる(45分)	他のデータ活用事例を調べてまとめる(45分)
4	【データ・AI利活用(導入)】身近にあるAI、データ分析とAIの活用領域	AIを調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
5	【データ・AI利活用(導入)】データ・AI利活用のための技術、データの活用とは	AIの技術を調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
6	【データ・AI利活用(導入)】データ・AI利活用の現場・最新動向	AIの動向を調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
7	【データ・AI利活用(導入)】データ・AIの事例について調べ、スライドを作成する。グループワーク	PowerPointの基本操作を復習する(45分)	データ・AIの事例を調べる(45分)
8	【データ・AI利活用(導入)】データ・AIの事例について調べ、スライドを作成・発表する。グループワーク	発表の準備をする(45分)	発表内容を復習する(45分)
9	【Excelの基礎】Excelの基本操作とデータ加工について	Excelの基本操作を調べる(45分)	Excelの基本操作を復習する(45分)
10	【データリテラシー(基礎)】平均値、ばらつき、相関と因果、母集団と抽出 Excelを使用した演習	Excelの基本操作を復習する(45分)	学習したExcel関数を復習する(45分)
11	【データリテラシー(基礎)】グラフ、データの可視化演習 Excelを使用した演習	Excelの基本操作を復習する(45分)	グラフ作成方法を復習する(45分)
12	【データリテラシー(基礎)】分析演習(手法を予め定めた分析) Excelを使用した演習	Excelの基本操作を復習する(45分)	分析方法を復習する(45分)
13	【データリテラシー(基礎)】分析演習(自由分析) Excelを使用した演習、グループワーク	分析方法を復習する(45分)	分析方法を復習する(45分)
14	【データ・AI利活用の留意事項(心得)】データ・AI利活用の利点・欠点を知る。	データ・AIが引き起こすリスクを調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
15	【データ・AI利活用の留意事項(心得)】データ・AIが引き起こす課題について調べ、発表する。グループワーク	データ・AIが引き起こす課題を調べる(45分)	発表内容を復習する(45分)
16	定期試験(60分)・解説(30分)	これまでの確認テストを復習する(45分)	解説内容をまとめる(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	後期		授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: SOF041019/SOF061043))					
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)		
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)		CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。			

概要

履修目標
今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活や実社会の場で活用できる基礎的素養を身につける。ドキュメンテーション及びプレゼンテーションの基礎知識を身につけ、自分が意図した通りにデータを加工し、適切なたちで表現する技能を習得する。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
データ・AI活用領域の広がりや理解し、それらを活用する価値を説明できる。また、その際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解し習得する。コンピュータを使って、データを適切に加工・分析・考察することができ、その結果をプレゼンテーションツール等を用いて、表現することができる。

授業全体の内容と概要
数理・データサイエンス・AIの活用について、講義・演習課題、各種教材を通して、知識だけではなく、実際にデータを加工し、表現できる技術を体系的に学修できる授業内容とする。習熟度を測定するために確認テストを複数回実施する。演習課題は個人形式行う他に、知識・技術の応用・定着を図るため、グループワーク(グループディスカッション)形式の演習を取り入れる。なお、グループ編成は、基礎知識や使用ソフトの操作技術の習熟度を考慮した上で、担当教員より指定する。

授業の方法
各回の授業は、担当教員による講義と、Excel・PowerPointを使った演習を組み合わせで行う。演習は、個人形式またはグループワーク形式で実施し、成果物の提出を求める。本科目開講期間中は、講義で使用した教材をオンライン上に保存・提供するので、復習等に活用してほしい。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>プレゼンテーション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>フィールドワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>模擬授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ロールプレイ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>調査学習</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ディスカッション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>実験・実習・実技</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>双方向授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL																	
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業																	
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
課題データは、自分で考えまとめたものを提出することとし、第三者が作成した著作物等を転用しないこと。自分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、必要な設定は予め済ませておくこと。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上とする。30分以上の遅刻は欠席と見なす。5評価(秀)は、原則として全出席者に限る。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	50%	0%	50%	0%	0%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
50%	0%	50%	0%	0%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数理・データサイエンス・AIの理解</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて自分の考えと併せて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を説明できなかった。</td> </tr> <tr> <td>データ・AI利活用におけるモラル・倫理・リスクの理解</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、自分ごととして考え、事例を基に詳しく説明できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を基に詳しく説明できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を見つけて理解できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>コンピュータを使ったデータ加工・分析・表現</td> <td>Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現し、自らの考えを交えて説明できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を表現できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができず、結果を正しく表現できなかった。</td> </tr> <tr> <td>コンピュータを使ったスライド作成・表現</td> <td>図や画像を使い、レイアウトやテキストなどの細かい設定に気を配り、より聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。</td> <td>図や画像を使い、聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。</td> <td>図や画像を使い、スライドを作成することができた。</td> <td>スライドを作成することができた。</td> <td>スライドを作成することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>プレゼンテーションの基礎知識</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的かつ自分なりに工夫を凝らしたプレゼンすることができた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的にプレゼンすることができた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践できた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得できた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得できなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	数理・データサイエンス・AIの理解	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて自分の考えと併せて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を説明できなかった。	データ・AI利活用におけるモラル・倫理・リスクの理解	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、自分ごととして考え、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を見つけて理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できなかった。	コンピュータを使ったデータ加工・分析・表現	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現し、自らの考えを交えて説明できた。	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができず、結果を正しく表現できなかった。	コンピュータを使ったスライド作成・表現	図や画像を使い、レイアウトやテキストなどの細かい設定に気を配り、より聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、スライドを作成することができた。	スライドを作成することができた。	スライドを作成することができなかった。	プレゼンテーションの基礎知識	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的かつ自分なりに工夫を凝らしたプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的にプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できなかった。
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
数理・データサイエンス・AIの理解	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて自分の考えと併せて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を説明できなかった。																																				
データ・AI利活用におけるモラル・倫理・リスクの理解	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、自分ごととして考え、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を見つけて理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できなかった。																																				
コンピュータを使ったデータ加工・分析・表現	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現し、自らの考えを交えて説明できた。	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができず、結果を正しく表現できなかった。																																				
コンピュータを使ったスライド作成・表現	図や画像を使い、レイアウトやテキストなどの細かい設定に気を配り、より聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、スライドを作成することができた。	スライドを作成することができた。	スライドを作成することができなかった。																																				
プレゼンテーションの基礎知識	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的かつ自分なりに工夫を凝らしたプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的にプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>『教養としてのデータサイエンス』</td> <td>内田誠一/川崎能典/孝忠大輔/佐久間淳/椎名洋/中川裕志</td> <td>講談社サイエンスイフィク</td> <td>2021</td> <td>978-4-06-523809-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>『データサイエンスの基礎』</td> <td>瀧田悦生</td> <td>講談社サイエンスイフィク</td> <td>2019</td> <td>978-4-06-517000-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『教養としてのデータサイエンス』	内田誠一/川崎能典/孝忠大輔/佐久間淳/椎名洋/中川裕志	講談社サイエンスイフィク	2021	978-4-06-523809-7		2	『データサイエンスの基礎』	瀧田悦生	講談社サイエンスイフィク	2019	978-4-06-517000-7		3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『教養としてのデータサイエンス』	内田誠一/川崎能典/孝忠大輔/佐久間淳/椎名洋/中川裕志	講談社サイエンスイフィク	2021	978-4-06-523809-7																																					
2	『データサイエンスの基礎』	瀧田悦生	講談社サイエンスイフィク	2019	978-4-06-517000-7																																					
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: SOF041019/SOF061043))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション・プレゼンの基礎】シラバス説明、プレゼンの基礎、PowerPoint基本操作	シラバスの確認(45分)	プレゼンの基礎、基本操作の復習(45分)
2	【データ・AI利活用(導入)】データ・AIを学ぶ意義、社会で起きている変化、社会で活用されているデータ	データサイエンスを調べる(45分)	確認テストの復習(45分)
3	【データ・AI利活用(導入)】データ活用事例について調べ、スライドを作成する。	データ活用事例を調べる(45分)	他のデータ活用事例を調べてまとめる(45分)
4	【データ・AI利活用(導入)】身近にあるAI、データ分析とAIの活用領域	AIを調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
5	【データ・AI利活用(導入)】データ・AI利活用のための技術、データの活用とは	AIの技術を調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
6	【データ・AI利活用(導入)】データ・AI利活用の現場・最新動向	AIの動向を調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
7	【データ・AI利活用(導入)】データ・AIの事例について調べ、スライドを作成する。グループワーク	PowerPointの基本操作を復習する(45分)	データ・AIの事例を調べる(45分)
8	【データ・AI利活用(導入)】データ・AIの事例について調べ、スライドを作成・発表する。グループワーク	発表の準備をする(45分)	発表内容を復習する(45分)
9	【Excelの基礎】Excelの基本操作とデータ加工について	Excelの基本操作を調べる(45分)	Excelの基本操作を復習する(45分)
10	【データリテラシー(基礎)】平均値、ばらつき、相関と因果、母集団と抽出 Excelを使用した演習	Excelの基本操作を復習する(45分)	学習したExcel関数を復習する(45分)
11	【データリテラシー(基礎)】グラフ、データの可視化演習 Excelを使用した演習	Excelの基本操作を復習する(45分)	グラフ作成方法を復習する(45分)
12	【データリテラシー(基礎)】分析演習(手法を予め定めた分析) Excelを使用した演習	Excelの基本操作を復習する(45分)	分析方法を復習する(45分)
13	【データリテラシー(基礎)】分析演習(自由分析) Excelを使用した演習、グループワーク	分析方法を復習する(45分)	分析方法を復習する(45分)
14	【データ・AI利活用の留意事項(心得)】データ・AI利活用の利点・欠点を知る。	データ・AIが引き起こすリスクを調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
15	【データ・AI利活用の留意事項(心得)】データ・AIが引き起こす課題について調べ、発表する。グループワーク	データ・AIが引き起こす課題を調べる(45分)	発表内容を復習する(45分)
16	定期試験(60分)・解説(30分)	これまでの確認テストを復習する(45分)	解説内容をまとめる(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	後期		授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: SOF041019/SOF062043))					
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)		
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)		CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。			

概要

履修目標
今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活や実社会の場で活用できる基礎的素養を身につける。ドキュメンテーション及びプレゼンテーションの基礎知識を身につけ、自分が意図した通りにデータを加工し、適切なかたちで表現する技能を習得する。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
データ・AI活用領域の広がりや理解し、それらを活用する価値を説明できる。また、その際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解し習得する。コンピュータを使って、データを適切に加工・分析・考察することができ、その結果をプレゼンテーションツール等を用いて、表現することができる。

授業全体の内容と概要
数理・データサイエンス・AIの活用について、講義・演習課題、各種教材を通して、知識だけではなく、実際にデータを加工し、表現できる技術を体系的に学修できる授業内容とする。習熟度を測定するために確認テストを複数回実施する。演習課題は個人形式行う他に、知識・技術の応用・定着を図るため、グループワーク(グループディスカッション)形式の演習を取り入れる。なお、グループ編成は、基礎知識や使用ソフトの操作技術の習熟度を考慮した上で、担当教員より指定する。

授業の方法
各回の授業は、担当教員による講義と、Excel・PowerPointを使った演習を組み合わせで行う。演習は、個人形式またはグループワーク形式で実施し、成果物の提出を求める。本科目開講期間中は、講義で使用した教材をオンライン上に保存・提供するので、復習等に活用してほしい。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>プレゼンテーション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>フィールドワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>模擬授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ロールプレイ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>調査学習</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ディスカッション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>実験・実習・実技</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>双方向授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL																	
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業																	
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
課題データは、自分で考えまとめたものを提出することとし、第三者が作成した著作物等を転用しないこと。自分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、必要な設定は予め済ませておくこと。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上とする。30分以上の遅刻は欠席と見なす。5評価(秀)は、原則として全出席者に限る。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	50%	0%	50%	0%	0%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
50%	0%	50%	0%	0%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数理・データサイエンス・AIの理解</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて自分の考えと併せて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できなかった。</td> </tr> <tr> <td>データ・AI利活用におけるモラル・倫理・リスクの理解</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、自分ごととして考え、事例を基に詳しく説明できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を基に詳しく説明できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を見つけて説明できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>コンピュータを使ったデータ加工・分析・表現</td> <td>Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現し、自らの考えを交えて説明できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を表現できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができず、結果を正しく表現できなかった。</td> </tr> <tr> <td>コンピュータを使ったスライド作成・表現</td> <td>図や画像を使い、レイアウトやテキストなどの細かい設定に気を配り、より聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。</td> <td>図や画像を使い、聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。</td> <td>図や画像を使い、スライドを作成することができた。</td> <td>スライドを作成することができた。</td> <td>スライドを作成することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>プレゼンテーションの基礎知識</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的かつ自分なりに工夫を凝らしたプレゼンすることができた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的にプレゼンすることができた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践できた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得できた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得できなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	数理・データサイエンス・AIの理解	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて自分の考えと併せて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できなかった。	データ・AI利活用におけるモラル・倫理・リスクの理解	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、自分ごととして考え、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を見つけて説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できなかった。	コンピュータを使ったデータ加工・分析・表現	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現し、自らの考えを交えて説明できた。	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができず、結果を正しく表現できなかった。	コンピュータを使ったスライド作成・表現	図や画像を使い、レイアウトやテキストなどの細かい設定に気を配り、より聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、スライドを作成することができた。	スライドを作成することができた。	スライドを作成することができなかった。	プレゼンテーションの基礎知識	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的かつ自分なりに工夫を凝らしたプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的にプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できなかった。
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
数理・データサイエンス・AIの理解	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて自分の考えと併せて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できなかった。																																				
データ・AI利活用におけるモラル・倫理・リスクの理解	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、自分ごととして考え、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を見つけて説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できなかった。																																				
コンピュータを使ったデータ加工・分析・表現	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現し、自らの考えを交えて説明できた。	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができず、結果を正しく表現できなかった。																																				
コンピュータを使ったスライド作成・表現	図や画像を使い、レイアウトやテキストなどの細かい設定に気を配り、より聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、スライドを作成することができた。	スライドを作成することができた。	スライドを作成することができなかった。																																				
プレゼンテーションの基礎知識	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的かつ自分なりに工夫を凝らしたプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的にプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『教養としてのデータサイエンス』</td> <td>内田誠一/川崎能典/孝忠大輔/佐久間淳/椎名洋/中川裕志</td> <td>講談社サイエンスイフィク</td> <td>2021</td> <td>978-4-06-523809-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>『データサイエンスの基礎』</td> <td>瀧田悦生</td> <td>講談社サイエンスイフィク</td> <td>2019</td> <td>978-4-06-517000-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『教養としてのデータサイエンス』	内田誠一/川崎能典/孝忠大輔/佐久間淳/椎名洋/中川裕志	講談社サイエンスイフィク	2021	978-4-06-523809-7		2	『データサイエンスの基礎』	瀧田悦生	講談社サイエンスイフィク	2019	978-4-06-517000-7		3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『教養としてのデータサイエンス』	内田誠一/川崎能典/孝忠大輔/佐久間淳/椎名洋/中川裕志	講談社サイエンスイフィク	2021	978-4-06-523809-7																																					
2	『データサイエンスの基礎』	瀧田悦生	講談社サイエンスイフィク	2019	978-4-06-517000-7																																					
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: SOF041019/SOF062043))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション・プレゼンの基礎】シラバス説明、プレゼンの基礎、PowerPoint基本操作	シラバスの確認(45分)	プレゼンの基礎、基本操作の復習(45分)
2	【データ・AI利活用(導入)】データ・AIを学ぶ意義、社会で起きている変化、社会で活用されているデータ	データサイエンスを調べる(45分)	確認テストの復習(45分)
3	【データ・AI利活用(導入)】データ活用事例について調べ、スライドを作成する。	データ活用事例を調べる(45分)	他のデータ活用事例を調べてまとめる(45分)
4	【データ・AI利活用(導入)】身近にあるAI、データ分析とAIの活用領域	AIを調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
5	【データ・AI利活用(導入)】データ・AI利活用のための技術、データの活用とは	AIの技術を調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
6	【データ・AI利活用(導入)】データ・AI利活用の現場・最新動向	AIの動向を調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
7	【データ・AI利活用(導入)】データ・AIの事例について調べ、スライドを作成する。グループワーク	PowerPointの基本操作を復習する(45分)	データ・AIの事例を調べる(45分)
8	【データ・AI利活用(導入)】データ・AIの事例について調べ、スライドを作成・発表する。グループワーク	発表の準備をする(45分)	発表内容を復習する(45分)
9	【Excelの基礎】Excelの基本操作とデータ加工について	Excelの基本操作を調べる(45分)	Excelの基本操作を復習する(45分)
10	【データリテラシー(基礎)】平均値、ばらつき、相関と因果、母集団と抽出 Excelを使用した演習	Excelの基本操作を復習する(45分)	学習したExcel関数を復習する(45分)
11	【データリテラシー(基礎)】グラフ、データの可視化演習 Excelを使用した演習	Excelの基本操作を復習する(45分)	グラフ作成方法を復習する(45分)
12	【データリテラシー(基礎)】分析演習(手法を予め定めた分析) Excelを使用した演習	Excelの基本操作を復習する(45分)	分析方法を復習する(45分)
13	【データリテラシー(基礎)】分析演習(自由分析) Excelを使用した演習、グループワーク	分析方法を復習する(45分)	分析方法を復習する(45分)
14	【データ・AI利活用の留意事項(心得)】データ・AI利活用の利点・欠点を知る。	データ・AIが引き起こすリスクを調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
15	【データ・AI利活用の留意事項(心得)】データ・AIが引き起こす課題について調べ、発表する。グループワーク	データ・AIが引き起こす課題を調べる(45分)	発表内容を復習する(45分)
16	定期試験(60分)・解説(30分)	これまでの確認テストを復習する(45分)	解説内容をまとめる(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			



基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (S- (科目ナンバリング：SOF041019/SOF061043))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者：近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。		

概要

履修目標
今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活や実社会の場で活用できる基礎的素養を身につける。ドキュメンテーション及びプレゼンテーションの基礎知識を身につけ、自分が意図した通りにデータを加工し、適切なかたちで表現する技能を習得する。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(3)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
データ・AI活用領域の広がりや理解し、それらを活用する価値を説明できる。また、その際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解し習得する。コンピュータを使って、データを適切に加工・分析・考察することができ、その結果をプレゼンテーションツール等を用いて、表現することができる。

授業全体の内容と概要
数理・データサイエンス・AIの活用について、講義・演習課題、各種教材を通して、知識だけではなく、実際にデータを加工し、表現できる技術を体系的に学修できる授業内容とする。習熟度を測定するために確認テストを複数回実施する。演習課題は個人形式行う他に、知識・技術の応用・定着を図るため、グループワーク(グループディスカッション)形式の演習を取り入れる。なお、グループ編成は、基礎知識や使用ソフトの操作技術の習熟度を考慮した上で、担当教員より指定する。

授業の方法
各回の授業は、担当教員による講義と、Excel・PowerPointを使った演習を組み合わせで行う。演習は、個人形式またはグループワーク形式で実施し、成果物の提出を求める。本科目開講期間中は、講義で使用する教材をオンライン上に保存・提供するので、復習等に活用してほしい。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>プレゼンテーション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>フィールドワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>模擬授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ロールプレイ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>調査学習</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ディスカッション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>実験・実習・実技</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>双方向授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL																	
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業																	
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
課題データは、自分で考えまとめたものを提出することとし、第三者が作成した著作物等を転用しないこと。自分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、必要な設定は予め済ませておくこと。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上とする。30分以上の遅刻は欠席と見なす。5評価(秀)は、原則として全出席者に限る。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	50%	0%	50%	0%	0%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
50%	0%	50%	0%	0%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数理・データサイエンス・AIの理解</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて自分の考えと併せて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できなかった。</td> </tr> <tr> <td>データ・AI利活用におけるモラル・倫理・リスクの理解</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、自分ごととして考え、事例を基に詳しく説明できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を基に詳しく説明できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を見つけて理解できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>コンピュータを使ったデータ加工・分析・表現</td> <td>Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現し、自らの考えを交えて説明できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を表現できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができず、結果を正しく表現できなかった。</td> </tr> <tr> <td>コンピュータを使ったスライド作成・表現</td> <td>図や画像を使い、レイアウトやテキストなどの細かい設定に気を配り、より聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。</td> <td>図や画像を使い、聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。</td> <td>図や画像を使い、スライドを作成することができた。</td> <td>スライドを作成することができた。</td> <td>スライドを作成することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>プレゼンテーションの基礎知識</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的かつ自分なりに工夫を凝らしたプレゼンすることができた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的にプレゼンすることができた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践できた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得できた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得できなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	数理・データサイエンス・AIの理解	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて自分の考えと併せて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できなかった。	データ・AI利活用におけるモラル・倫理・リスクの理解	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、自分ごととして考え、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を見つけて理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できなかった。	コンピュータを使ったデータ加工・分析・表現	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現し、自らの考えを交えて説明できた。	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができず、結果を正しく表現できなかった。	コンピュータを使ったスライド作成・表現	図や画像を使い、レイアウトやテキストなどの細かい設定に気を配り、より聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、スライドを作成することができた。	スライドを作成することができた。	スライドを作成することができなかった。	プレゼンテーションの基礎知識	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的かつ自分なりに工夫を凝らしたプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的にプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できなかった。
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
数理・データサイエンス・AIの理解	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて自分の考えと併せて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できなかった。																																				
データ・AI利活用におけるモラル・倫理・リスクの理解	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、自分ごととして考え、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を見つけて理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できなかった。																																				
コンピュータを使ったデータ加工・分析・表現	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現し、自らの考えを交えて説明できた。	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができず、結果を正しく表現できなかった。																																				
コンピュータを使ったスライド作成・表現	図や画像を使い、レイアウトやテキストなどの細かい設定に気を配り、より聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、スライドを作成することができた。	スライドを作成することができた。	スライドを作成することができなかった。																																				
プレゼンテーションの基礎知識	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的かつ自分なりに工夫を凝らしたプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的にプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『教養としてのデータサイエンス』</td> <td>内田誠一/川崎能典/孝忠大輔/佐久間淳/椎名洋/中川裕志</td> <td>講談社サイエンスイフィク</td> <td>2021</td> <td>978-4-06-523809-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>『データサイエンスの基礎』</td> <td>瀧田悦生</td> <td>講談社サイエンスイフィク</td> <td>2019</td> <td>978-4-06-517000-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『教養としてのデータサイエンス』	内田誠一/川崎能典/孝忠大輔/佐久間淳/椎名洋/中川裕志	講談社サイエンスイフィク	2021	978-4-06-523809-7		2	『データサイエンスの基礎』	瀧田悦生	講談社サイエンスイフィク	2019	978-4-06-517000-7		3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『教養としてのデータサイエンス』	内田誠一/川崎能典/孝忠大輔/佐久間淳/椎名洋/中川裕志	講談社サイエンスイフィク	2021	978-4-06-523809-7																																					
2	『データサイエンスの基礎』	瀧田悦生	講談社サイエンスイフィク	2019	978-4-06-517000-7																																					
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (S- (科目ナンバリング: SOF041019/SOF061043))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション・プレゼンの基礎】シラバス説明、プレゼンの基礎、PowerPoint基本操作	シラバスの確認(45分)	プレゼンの基礎、基本操作の復習(45分)
2	【データ・AI利活用(導入)】データ・AIを学ぶ意義、社会で起きている変化、社会で活用されているデータ	データサイエンスを調べる(45分)	確認テストの復習(45分)
3	【データ・AI利活用(導入)】データ活用事例について調べ、スライドを作成する。	データ活用事例を調べる(45分)	他のデータ活用事例を調べてまとめる(45分)
4	【データ・AI利活用(導入)】身近にあるAI、データ分析とAIの活用領域	AIを調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
5	【データ・AI利活用(導入)】データ・AI利活用のための技術、データの活用とは	AIの技術を調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
6	【データ・AI利活用(導入)】データ・AI利活用の現場・最新動向	AIの動向を調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
7	【データ・AI利活用(導入)】データ・AIの事例について調べ、スライドを作成する。グループワーク	PowerPointの基本操作を復習する(45分)	データ・AIの事例を調べる(45分)
8	【データ・AI利活用(導入)】データ・AIの事例について調べ、スライドを作成・発表する。グループワーク	発表の準備をする(45分)	発表内容を復習する(45分)
9	【Excelの基礎】Excelの基本操作とデータ加工について	Excelの基本操作を調べる(45分)	Excelの基本操作を復習する(45分)
10	【データリテラシー(基礎)】平均値、ばらつき、相関と因果、母集団と抽出 Excelを使用した演習	Excelの基本操作を復習する(45分)	学習したExcel関数を復習する(45分)
11	【データリテラシー(基礎)】グラフ、データの可視化演習 Excelを使用した演習	Excelの基本操作を復習する(45分)	グラフ作成方法を復習する(45分)
12	【データリテラシー(基礎)】分析演習(手法を予め定めた分析) Excelを使用した演習	Excelの基本操作を復習する(45分)	分析方法を復習する(45分)
13	【データリテラシー(基礎)】分析演習(自由分析) Excelを使用した演習、グループワーク	分析方法を復習する(45分)	分析方法を復習する(45分)
14	【データ・AI利活用の留意事項(心得)】データ・AI利活用の利点・欠点を知る。	データ・AIが引き起こすリスクを調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
15	【データ・AI利活用の留意事項(心得)】データ・AIが引き起こす課題について調べ、発表する。グループワーク	データ・AIが引き起こす課題を調べる(45分)	発表内容を復習する(45分)
16	定期試験(60分)・解説(30分)	これまでの確認テストを復習する(45分)	解説内容をまとめる(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			



基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (D- (科目ナンバリング: SOF041019/SOF061043))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、実社会で必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。		

概要

履修目標
今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活や実社会の場で活用できる基礎的素養を身につける。ドキュメンテーション及びプレゼンテーションの基礎知識を身につけ、自分が意図した通りにデータを加工し、適切なかたちで表現する技能を習得する。

授業の位置づけ
デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
データ・AI活用領域の広がりや理解し、それらを活用する価値を説明できる。また、その際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解し習得する。コンピュータを使って、データを適切に加工・分析・考察することができ、その結果をプレゼンテーションツール等を用いて、表現することができる。

授業全体の内容と概要
数理・データサイエンス・AIの活用について、講義・演習課題、各種教材を通して、知識だけではなく、実際にデータを加工し、表現できる技術を体系的に学修できる授業内容とする。習熟度を測定するために確認テストを複数回実施する。演習課題は個人形式行う他に、知識・技術の応用・定着を図るため、グループワーク(グループディスカッション)形式の演習を取り入れる。なお、グループ編成は、基礎知識や使用ソフトの操作技術の習熟度を考慮した上で、担当教員より指定する。

授業の方法
各回の授業は、担当教員による講義と、Excel・PowerPointを使った演習を組み合わせで行う。演習は、個人形式またはグループワーク形式で実施し、成果物の提出を求める。本科目開講期間中は、講義で使用した教材をオンライン上に保存・提供するので、復習等に活用してほしい。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>プレゼンテーション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>フィールドワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>模擬授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ロールプレイ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>調査学習</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ディスカッション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>実験・実習・実技</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>双方向授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL																	
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業																	
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
課題データは、自分で考えまとめたものを提出することとし、第三者が作成した著作物等を転用しないこと。自分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、必要な設定は予め済ませておくこと。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上とする。30分以上の遅刻は欠席と見なす。5評価(秀)は、原則として全出席者に限る。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	50%	0%	50%	0%	0%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
50%	0%	50%	0%	0%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数理・データサイエンス・AIの理解</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて自分の考えと併せて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を説明できなかった。</td> </tr> <tr> <td>データ・AI利活用におけるモラル・倫理・リスクの理解</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、自分ごととして考えた上で、事例を詳しく説明できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を詳しく説明できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を見つけて理解できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>コンピュータを使ったデータ加工・分析・表現</td> <td>Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現し、自らの考えを交えて説明できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を表現できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができず、結果を正しく表現できなかった。</td> </tr> <tr> <td>コンピュータを使ったスライド作成・表現</td> <td>図や画像を使い、レイアウトやテキストなどの細かい設定に気を配り、より聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。</td> <td>図や画像を使い、聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。</td> <td>図や画像を使い、スライドを作成することができた。</td> <td>スライドを作成することができた。</td> <td>スライドを作成することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>プレゼンテーションの基礎知識</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的かつ自分なりに工夫を凝らしたプレゼンすることができた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的にプレゼンすることができた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践できた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得できた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得できなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	数理・データサイエンス・AIの理解	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて自分の考えと併せて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を説明できなかった。	データ・AI利活用におけるモラル・倫理・リスクの理解	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、自分ごととして考えた上で、事例を詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を見つけて理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できなかった。	コンピュータを使ったデータ加工・分析・表現	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現し、自らの考えを交えて説明できた。	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができず、結果を正しく表現できなかった。	コンピュータを使ったスライド作成・表現	図や画像を使い、レイアウトやテキストなどの細かい設定に気を配り、より聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、スライドを作成することができた。	スライドを作成することができた。	スライドを作成することができなかった。	プレゼンテーションの基礎知識	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的かつ自分なりに工夫を凝らしたプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的にプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できなかった。
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
数理・データサイエンス・AIの理解	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて自分の考えと併せて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を説明できなかった。																																				
データ・AI利活用におけるモラル・倫理・リスクの理解	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、自分ごととして考えた上で、事例を詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を見つけて理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できなかった。																																				
コンピュータを使ったデータ加工・分析・表現	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現し、自らの考えを交えて説明できた。	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができず、結果を正しく表現できなかった。																																				
コンピュータを使ったスライド作成・表現	図や画像を使い、レイアウトやテキストなどの細かい設定に気を配り、より聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、スライドを作成することができた。	スライドを作成することができた。	スライドを作成することができなかった。																																				
プレゼンテーションの基礎知識	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的かつ自分なりに工夫を凝らしたプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的にプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『教養としてのデータサイエンス』</td> <td>内田誠一/川崎能典/孝忠大輔/佐久間淳/椎名洋/中川裕志</td> <td>講談社サイエンスイフィク</td> <td>2021</td> <td>978-4-06-523809-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>『データサイエンスの基礎』</td> <td>濱田悦生</td> <td>講談社サイエンスイフィク</td> <td>2019</td> <td>978-4-06-517000-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『教養としてのデータサイエンス』	内田誠一/川崎能典/孝忠大輔/佐久間淳/椎名洋/中川裕志	講談社サイエンスイフィク	2021	978-4-06-523809-7		2	『データサイエンスの基礎』	濱田悦生	講談社サイエンスイフィク	2019	978-4-06-517000-7		3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『教養としてのデータサイエンス』	内田誠一/川崎能典/孝忠大輔/佐久間淳/椎名洋/中川裕志	講談社サイエンスイフィク	2021	978-4-06-523809-7																																					
2	『データサイエンスの基礎』	濱田悦生	講談社サイエンスイフィク	2019	978-4-06-517000-7																																					
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (D- (科目ナンバリング: SOF041019/SOF061043))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション・プレゼンの基礎】シラバス説明、プレゼンの基礎、PowerPoint基本操作	シラバスの確認(45分)	プレゼンの基礎、基本操作の復習(45分)
2	【データ・AI利活用(導入)】データ・AIを学ぶ意義、社会で起きている変化、社会で活用されているデータ	データサイエンスを調べる(45分)	確認テストの復習(45分)
3	【データ・AI利活用(導入)】データ活用事例について調べ、スライドを作成する。	データ活用事例を調べる(45分)	他のデータ活用事例を調べてまとめる(45分)
4	【データ・AI利活用(導入)】身近にあるAI、データ分析とAIの活用領域	AIを調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
5	【データ・AI利活用(導入)】データ・AI利活用のための技術、データの活用とは	AIの技術を調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
6	【データ・AI利活用(導入)】データ・AI利活用の現場・最新動向	AIの動向を調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
7	【データ・AI利活用(導入)】データ・AIの事例について調べ、スライドを作成する。グループワーク	PowerPointの基本操作を復習する(45分)	データ・AIの事例を調べる(45分)
8	【データ・AI利活用(導入)】データ・AIの事例について調べ、スライドを作成・発表する。グループワーク	発表の準備をする(45分)	発表内容を復習する(45分)
9	【Excelの基礎】Excelの基本操作とデータ加工について	Excelの基本操作を調べる(45分)	Excelの基本操作を復習する(45分)
10	【データリテラシー(基礎)】平均値、ばらつき、相関と因果、母集団と抽出 Excelを使用した演習	Excelの基本操作を復習する(45分)	学習したExcel関数を復習する(45分)
11	【データリテラシー(基礎)】グラフ、データの可視化演習 Excelを使用した演習	Excelの基本操作を復習する(45分)	グラフ作成方法を復習する(45分)
12	【データリテラシー(基礎)】分析演習(手法を予め定めた分析) Excelを使用した演習	Excelの基本操作を復習する(45分)	分析方法を復習する(45分)
13	【データリテラシー(基礎)】分析演習(自由分析) Excelを使用した演習、グループワーク	分析方法を復習する(45分)	分析方法を復習する(45分)
14	【データ・AI利活用の留意事項(心得)】データ・AI利活用の利点・欠点を知る。	データ・AIが引き起こすリスクを調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
15	【データ・AI利活用の留意事項(心得)】データ・AIが引き起こす課題について調べ、発表する。グループワーク	データ・AIが引き起こす課題を調べる(45分)	発表内容を復習する(45分)
16	定期試験(60分)・解説(30分)	これまでの確認テストを復習する(45分)	解説内容をまとめる(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (A- (科目ナンバリング: SOF041019/SOF061043))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)・向井 正伸		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)・2号館7階(向)	
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。		

概要

履修目標
今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活や実社会の場で活用できる基礎的素養を身につける。ドキュメンテーション及びプレゼンテーションの基礎知識を身につけ、自分が意図した通りにデータを加工し、適切なかたちで表現する技能を習得する。

授業の位置づけ
建築学科のDP「1(2)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
データ・AI活用領域の広がりや理解し、それらを活用する価値を説明できる。また、その際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解し習得する。コンピュータを使って、データを適切に加工・分析・考察することができ、その結果をプレゼンテーションツール等を用いて、表現することができる。

授業全体の内容と概要
数理・データサイエンス・AIの活用について、講義・演習課題・各種教材を通して、知識だけではなく、実際にデータを加工し、表現できる技術を体系的に学修できる授業内容とする。習熟度を測定するために確認テストを複数回実施する。演習課題は個人形式行う他に、知識・技術の応用・定着を図るため、グループワーク(グループディスカッション)形式の演習を取り入れる。なお、グループ編成は、基礎知識や使用ソフトの操作技術の習熟度を考慮した上で、担当教員より指定する。

授業の方法
各回の授業は、担当教員による講義と、Excel・PowerPointを使った演習を組み合わせで行う。演習は、個人形式またはグループワーク形式で実施し、成果物の提出を求める。本科目開講期間中は、講義で使用した教材をオンライン上に保存・提供するので、復習等に活用してほしい。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>プレゼンテーション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>フィールドワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>模擬授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ロールプレイ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>調査学習</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ディスカッション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>実験・実習・実技</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>双方向授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL																	
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業																	
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
課題データは、自分で考えまとめたものを提出することとし、第三者が作成した著作物等を転用しないこと。自分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、必要な設定は予め済ませておくこと。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上とする。30分以上の遅刻は欠席と見なす。5評価(秀)は、原則として全出席者に限る。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	50%	0%	50%	0%	0%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
50%	0%	50%	0%	0%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数理・データサイエンス・AIの理解</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて自分の考えと併せて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。</td> <td>データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を説明できなかった。</td> </tr> <tr> <td>データ・AI利活用におけるモラル・倫理・リスクの理解</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、自分ごととして考えた上で、事例を基に詳しく説明できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を基に詳しく説明できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を見つけて説明できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できた。</td> <td>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>コンピュータを使ったデータ加工・分析・表現</td> <td>Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現し、自らの考えを交えて説明できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を表現できた。</td> <td>Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができず、結果を正しく表現できなかった。</td> </tr> <tr> <td>コンピュータを使ったスライド作成・表現</td> <td>図や画像を使い、レイアウトやテキストなどの細かい設定に気を配り、より聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。</td> <td>図や画像を使い、聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。</td> <td>図や画像を使い、スライドを作成することができた。</td> <td>スライドを作成することができた。</td> <td>スライドを作成することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>プレゼンテーションの基礎知識</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的かつ自分なりに工夫を凝らしたプレゼンすることができた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的にプレゼンすることができた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践できた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得できた。</td> <td>プレゼンテーションの基礎知識を習得できなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	数理・データサイエンス・AIの理解	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて自分の考えと併せて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を説明できなかった。	データ・AI利活用におけるモラル・倫理・リスクの理解	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、自分ごととして考えた上で、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を見つけて説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できなかった。	コンピュータを使ったデータ加工・分析・表現	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現し、自らの考えを交えて説明できた。	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができず、結果を正しく表現できなかった。	コンピュータを使ったスライド作成・表現	図や画像を使い、レイアウトやテキストなどの細かい設定に気を配り、より聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、スライドを作成することができた。	スライドを作成することができた。	スライドを作成することができなかった。	プレゼンテーションの基礎知識	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的かつ自分なりに工夫を凝らしたプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的にプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できなかった。
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
数理・データサイエンス・AIの理解	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて自分の考えと併せて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を事例を用いて説明できた。	データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を説明できなかった。																																				
データ・AI利活用におけるモラル・倫理・リスクの理解	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、自分ごととして考えた上で、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を基に詳しく説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解でき、事例を見つけて説明できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できた。	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理、データ駆動型社会における脅威(リスク)について理解できなかった。																																				
コンピュータを使ったデータ加工・分析・表現	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現し、自らの考えを交えて説明できた。	Excelを使って、データを適切且つより詳細に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を正しく表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができ、結果を表現できた。	Excelを使って、データを適切に加工・分析・考察を行うことができず、結果を正しく表現できなかった。																																				
コンピュータを使ったスライド作成・表現	図や画像を使い、レイアウトやテキストなどの細かい設定に気を配り、より聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、聞き手にとってわかりやすいスライドを作成することができた。	図や画像を使い、スライドを作成することができた。	スライドを作成することができた。	スライドを作成することができなかった。																																				
プレゼンテーションの基礎知識	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的かつ自分なりに工夫を凝らしたプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践した結果、聞き手に対し効果的にプレゼンすることができた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得し、実践できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できた。	プレゼンテーションの基礎知識を習得できなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『教養としてのデータサイエンス』</td> <td>内田誠一/川崎能典/孝忠大輔/佐久間淳/椎名洋/中川裕志</td> <td>講談社サイエンスイフィク</td> <td>2021</td> <td>978-4-06-523809-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>『データサイエンスの基礎』</td> <td>瀧田悦生</td> <td>講談社サイエンスイフィク</td> <td>2019</td> <td>978-4-06-517000-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『教養としてのデータサイエンス』	内田誠一/川崎能典/孝忠大輔/佐久間淳/椎名洋/中川裕志	講談社サイエンスイフィク	2021	978-4-06-523809-7		2	『データサイエンスの基礎』	瀧田悦生	講談社サイエンスイフィク	2019	978-4-06-517000-7		3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『教養としてのデータサイエンス』	内田誠一/川崎能典/孝忠大輔/佐久間淳/椎名洋/中川裕志	講談社サイエンスイフィク	2021	978-4-06-523809-7																																					
2	『データサイエンスの基礎』	瀧田悦生	講談社サイエンスイフィク	2019	978-4-06-517000-7																																					
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (A- (科目ナンバリング: SOF041019/SOF061043))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)・向井 正伸		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)・2号館7階(向)	
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション・プレゼンの基礎】シラバス説明、プレゼンの基礎、PowerPoint基本操作	シラバスの確認(45分)	プレゼンの基礎、基本操作の復習(45分)
2	【データ・AI利活用(導入)】データ・AIを学ぶ意義、社会で起きている変化、社会で活用されているデータ	データサイエンスを調べる(45分)	確認テストの復習(45分)
3	【データ・AI利活用(導入)】データ活用事例について調べ、スライドを作成する。	データ活用事例を調べる(45分)	他のデータ活用事例を調べてまとめる(45分)
4	【データ・AI利活用(導入)】身近にあるAI、データ分析とAIの活用領域	AIを調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
5	【データ・AI利活用(導入)】データ・AI利活用のための技術、データの活用とは	AIの技術を調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
6	【データ・AI利活用(導入)】データ・AI利活用の現場・最新動向	AIの動向を調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
7	【データ・AI利活用(導入)】データ・AIの事例について調べ、スライドを作成する。グループワーク	PowerPointの基本操作を復習する(45分)	データ・AIの事例を調べる(45分)
8	【データ・AI利活用(導入)】データ・AIの事例について調べ、スライドを作成・発表する。グループワーク	発表の準備をする(45分)	発表内容を復習する(45分)
9	【Excelの基礎】Excelの基本操作とデータ加工について	Excelの基本操作を調べる(45分)	Excelの基本操作を復習する(45分)
10	【データリテラシー(基礎)】平均値、ばらつき、相関と因果、母集団と抽出 Excelを使用した演習	Excelの基本操作を復習する(45分)	学習したExcel関数を復習する(45分)
11	【データリテラシー(基礎)】グラフ、データの可視化演習 Excelを使用した演習	Excelの基本操作を復習する(45分)	グラフ作成方法を復習する(45分)
12	【データリテラシー(基礎)】分析演習(手法を予め定めた分析) Excelを使用した演習	Excelの基本操作を復習する(45分)	分析方法を復習する(45分)
13	【データリテラシー(基礎)】分析演習(自由分析) Excelを使用した演習、グループワーク	分析方法を復習する(45分)	分析方法を復習する(45分)
14	【データ・AI利活用の留意事項(心得)】データ・AI利活用の利点・欠点を知る。	データ・AIが引き起こすリスクを調べる(45分)	確認テストを復習する(45分)
15	【データ・AI利活用の留意事項(心得)】データ・AIが引き起こす課題について調べ、発表する。グループワーク	データ・AIが引き起こすリスクを調べる(45分)	発表内容を復習する(45分)
16	定期試験(60分)・解説(30分)	これまでの確認テストを復習する(45分)	解説内容をまとめる(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			